



令和5年(2023年)12月22日(金)



## 明日から楽しい冬休み



いよいよ今年もあとわずかとなりました。明日から(子どもたちにとっては)楽しい冬休みが始まります。大人にとっては慌ただしい時期となりますが、みなさんも子どもの頃は冬休みの特別な雰囲気、心を躍らせたのではないのでしょうか。冬休みのイベントの中でもクリスマスは特別ですね。サンタクロースがトナカイの引くそりに乗って、自分の欲しいプレゼントを持ってきてくれるなんて、夢のある素敵なお話です。でも子どもたちは夢ではなく、現実に関心することとして期待をしています。サンタクロースの存在をいつまで信じてくれるかわかりませんが、しばらくの間はこのお話を一緒に楽しみたいですね。



幼稚園でもおたのしみ会やクラス活動でクリスマスの話をしています。12月24日の夜にサンタクロースがやってくるよ、寝ないで起きている子どもにはプレゼントがもらえないんだよ、と伝えているので、話の途中で「シャンシャンシャン」と鈴を鳴らすと、みんなで寝たふりをするのです。そのしぐさが本当にかわいくて笑ってしまいます。もちろん、我慢できずに薄目を開けているのですが...

### 楽しかったおたのしみ会



12月15日(金)、小学部のお兄さんお姉さんを招待しておたのしみ会を行いました。例年行っているクリスマスの行事です。各学部で出し物を披露した後、校長先生扮するサンタクロースがプレゼントを持ってきてくれることになっています。

この日に向けて、幼稚園は小学部への招待状を作ったり、富山先生にサンタへの電話連絡をお願いしたりするなど大忙しです。

幼稚園の出し物は「赤鼻のトナカイ」の歌です。帰りの会で何度も練習をしました。小学部は(フェイク)ギターの演奏やダンスを披露してくれました。みんな楽しそうに体を揺らせ、ノリノリで見えています。



その次にシルエットクイズ。池田先生がクイズを出すとみんなで大盛り上がり！すると....遠くから....「シャンシャンシャンシャン」と鈴の音が聞こえてくるではありませんか。思わず寝たふりをする子もいます。ときどきしながら鈴の音の方を見ていると、ドアが開いてトナカイ(教頭先生)とサンタクロース(校長先生)が登場しました。サンタクロースは大きな白い袋を持っています。きっとあの中にプレゼントが入っているに違いありません。サンタクロースに「良い子でしたか？」と聞かれ、うんうんと自信を持ってうなずく子どもたち。一人ひとりプレゼントをもらって大喜びでした。記念写真を一緒に撮り、サンタさんを見送った後、今度は小学部のお兄さんお姉さんから手作りのかわいいプレゼントをもらいました。クリスマスは色々な人たちからプレゼントをもらえるので、心が温かくなりますね。後日、お返しのプレゼントを作り、小学部に渡しにいきました。お兄さんお姉さんの心も温かくなるといいですね。



## 年末年始に向けて



朝の会で教室の日めくりカレンダーをめくりながら、「もうなくなってしまう！」と訴えた子がいます。時の概念を伝えるのはなかなか難しいのですが、「12月が終わると新しい年が始まる」ということを視覚的に体験させるには日めくりカレンダーが有効です。冬休みは、学校がお休みになる、大掃除をする、年越しそばを食べる、お正月に家族で初詣にでかける、おせち料理を食べる、お年玉をもらう、親せきが集まる等々、年末年始の行事を体験しながら、ことばを少しずつ吸収して行ってほしいと思います。お忙しいとは思いますが、ことばを正しく身に付けるためにも口形をしっかりと見せ、視覚情報(文字やイラスト、手話)を併用しながら丁寧に発音してあげてください。

家庭によって過ごし方は多様化していますが、それでもご家族でゆっくり過ごせる時間はいつもより多いと思います。子どもたちだけでなく、保護者のみなさまもゆったりと心温まるお休みになると良いですね。学校は1月9日(火)から始まります。給食は1月10日(水)から始まります。新しい日めくりカレンダーを準備して、保護者のみなさまと子どもたちの元気な姿をお待ちしております。健康に気を付け、どうぞ良い年をお迎えください。